



各 位

2025年5月20日

会 社 名 イオン北海道株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 青柳 英樹  
(コード番号 7512 東証スタンダード・札証)  
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長  
田花 康一  
電 話 番 号 0 1 1 - 8 6 5 - 4 1 2 0

### 「当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の機能の向上と強化を図りつつ、企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

### 記

#### 1. 分析・評価のプロセス

取締役・監査役の全員を対象に、例年実施している取締役会の構成、取締役会の運営、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主との対話、執行業務に関する自己評価等についてのアンケート評価に加え、取締役・監査役11名を対象に、第三者評価機関を活用したインタビューを行いました。

評価結果につきましては外部機関により、評価プロセスの有効性及び適正性を検証した上で、2025年4月開催の取締役会において報告し、課題等について討議いたしました。

この討議に基づき、取締役会の実効性をさらに改善する点について、2025年5月20日開催の取締役会にて分析・議論・評価を行いました。

#### 2. 評価結果の概要等

当社の取締役会の実効性については、アンケートの大部分の項目において概ね高い評価を得られており、インタビューにおいてもその点が確認され、重大な指摘事項はありませんでした。

【取締役会の構成】については、女性の社内取締役の選任を求める意見や年齢の多様性を求める意見が挙げられた一方で、取締役会の多様性が確保できるよう努力する姿勢を評価する意見も挙げられています。また、現在の取締役会構成についてはバランスがよく、大きな問題点は見られないことを評価する意見が多く挙げられました。

【取締役会の運営】については、取締役会終了時に実施するアンケートを活用した改善を継続実施していることで、運営面の改善が見られました。具体的には議事運営面などおおむね適切であり、資料の提供時期の早期化や内容の改善を評価する意見が見られました。一方、審議時間の確保、取締役会資料の分量やプレゼンテーションについては、改善は見られるものの、引き続き課題意見が挙げられています。

【中長期戦略・経営計画】の議論については、さらなる議論の充実や振り返り時の分析の深化について課題意見が挙げられました。

2025年度は、取締役会におけるプレゼンテーションや資料の記載内容の引き続きの改善・運営ルールの徹底、議論・分析のさらなる充実や役員間の意見交換機会の拡大など、取締役会の運営をさらに高める取組みを進めてまいります。また、独立役員会議を活用し、より取締役会の実効性を高めることを検討してまいります。

### 3. 今後の対応

当社取締役会は、この評価結果を踏まえ、取締役会の「透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定」による「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」を図ってまいります。

以上